

- 1 金 西地区へ農産物の出品者を増やすために営業
- 2 土 休み
- 3 日 休み
- 4 月 西地区へ営業、朝市の詳細決め
- 5 火 ブルーベリーの摘果を教わる
- 6 水 休み
- 7 木 休み 農産物の表示講習会
- 8 金 朝市の告知文章作り、中川村へトマトを取りに行く
- 9 土 地域交流と大鹿の伝統食の勉強で楽姓クラブの活動に参加
- 10 日 米やハチミツのラベルを農産物の表示方法に従って作りなおす
- 11 月 朝市の備品準備、資料の作成
- 12 火 朝市の資料を各地区の広報係へ配布
- 13 水 休み
- 14 木 7月12～13日の名古屋での大鹿村のアピール商品、方法を考える
- 15 金 大鹿村周辺の加工所調べ、中川村「つくっちゃオ」の見学
- 16 土 青いケシの見学
- 17 日 第1回朝市の開催、朝市の反省点などまとめ
- 18 月 上蔵地区へ営業、農産物の配達
- 19 火 商品の仕入値、価格設定などについて教わる
- 20 水 休み
- 21 木 休み
- 22 金 沢井地区へ営業
- 23 土 朝市の商品を集めに農家をまわる
- 24 日 第2回朝市、観光客に大鹿村を訪れる目的について聞く
- 25 月 農産物のラベル表示について農水省の視察、改善点を教わる
- 26 火 農産物のラベル(肉、はちみつなど)改善
- 27 水 休み 6次産業化推進セミナー
- 28 木 休み
- 29 金 米、ハチミツのラベルを改善
- 30 土 朝市の商品集め



6月を振り返って

<朝市>

6月から始まった朝市だが、3回行って商品が少ないこと、訪れる人が少ないことが問題である。商品の増加のためには今後も農家をまわって朝市の告知、出品方法を宣伝すること、出品方法がわからないとの意見があったため簡単な説明文を作成して配布するなどの方法をとっていきたい。訪れる人が少ないことに関しては、道の目立つところに「朝市開催中」の看板を設置、各旅館さんに朝市開催の告知とお客さんへの案内をお願い、朝市のピラを掲示、再び配布するなど周知を徹底させたい。

<その他>

夏に向けて客数が増加するようなので、大鹿村の農産物の種類、数を増やすこと、食べ方などレシピをつけてお客さんが野菜を買いやすいようにするなど、6次産業化推進セミナーやアルプス市場の視察などを参考に改善していきたい。